

「よいどん」 保育園ではかけっこのスタートでよく聞こえてくる合図です。 新年は1月から、新年度は4月から、何かとみんなで一斉にスタートする機会がありませんね。 調子が良ければそのまま進めますが、ずっと走り続けるのは大変。 疲れたときは、時々止まってみるのも良いと思います。 周りは進んでるのに、自分だけ、みっともない、と思うこともあるかもしれません。 そこで止まるのは、自分が自分なりに進み始める前触れかもしれません。 もう一度進み始めるには勇気が必要なこともありすが、ちよつと深呼吸して、 はじめの1っぽ どんなに小さな一歩でも自分の心の中で「よいどん」 生きてればいつでもスタートはできるのです。

今月の予定

牛久市幼児教育指導員の先生方による

「おはなし会」<年中・長児> 6/5(月) 14:00~ 宮本先生、栗山先生による絵本や紙芝居の読み聞かせの時間です。子どもたちは集中しながらじっくりと聴いていますよ。

三園合同交流会<年長児>

6/6(火) つつじが丘保育園、つつじが丘ふたばランド保育園の年長さんとの交流会をおこないます！つつじが丘ふたばランド保育園の園庭でみんなで遊びますよ~!

カレーライスの日

6/14(水) 調理の様子を見たり、匂いを感じたり、音を聴いたり…五感を通してカレーライスの日を過ごしています。3,4,5歳児のご家庭は三角巾、エプロンをお忘れないように。

交通安全教室<年中・長児>

6/16(金) 13:30~ 今回は「雨の日の注意」について教えていただきます。こういった機会に、ご家庭でも交通安全についてお子さんと話せると良いかもしれませんね。

おべんとうデー 6/21(水)

いつも子どもたちのためにありがとうございます！これから気温が上がりますので、加熱したものをしっかり冷まして、保冷剤を入れてからお持ちください。

おいしいおはなし会<年長児>

6/28(水) 13:30~ 市の健康づくり推進課の食育活動の一環として、栄養士の方と牛久市食生活改善推進員の方々が年長児向けにお話しをさせていただきます。

誕生会

6/29(木) 10:00~ 6月生まれのお友だちの誕生会です。一つ大きくなることは子どもたちにとってすごく大きなことです。そんな記念日をみんなで祝いします！

内科検診

6/8(木) 14:00~ 尿検査 6/7(水) 9:00までに提出 5日(月)に検査キットをお渡しします。当日朝の尿をお持ちください。

歯科検診

6/15(木) 14:00~

お知らせ・お願い

★虫よけシール・リングについて

最近、蚊が増えてきましたね。園では、保育室等の屋内に電気式蚊取り器を設置、戸外に出る際は虫よけスプレー、刺された際はムヒで対応しています。ご家庭から虫よけシールをご使用になる場合は、衣服に付けたら剥がれ落ちやすいため、名札の裏に付けてください。(落ちたシールを小さい子が誤飲する可能性があります。)また、虫よけリングは、薬剤が手指に付くことを防ぐため手首でなく足首に着けてください。未使用の虫よけシール・リングの袋はお子さんのリュックに入れたままにならないよう、必ず保護者の方が管理してください。

★子どもの忘れ物

帽子やハンカチなどを忘れるお子さんが目立っています。幼児期の忘れ物は決して子どもだけの責任ではないと思います。特に週明けに多いので、保護者の方も一緒に持ち物の確認をしてくださいね。

★サツマイモの苗植えします

サツマイモの苗は今年度も『芋干』様よりご寄付をいただきました。園舎裏の畑を作るところから子どもたちも手伝ってくれましたよ。(卒園児の保護者の方がオーナーをされております。お店は牛久駅東口出てすぐのところですよ！)

★産休をいただいております、保育士 櫻井 奈弓先生が無事出産となりました。母子ともに健康とのこと。産休が明ける7月の中旬をもって退職となりますことを、こちらでお知らせさせていただきます。

☆お泊り保育(年長児のみ)

7/14(金)~15(土) に予定しております。詳しくは後日手紙を配布させていただきますのでご確認ください。年長児以外のお子さんは通常保育となります。※多少生活の仕方が変わる学年もありますので、そのときにお知らせします。

「名前のこと」

私、梶原は名を秀一(ひでかず)と言います。子どもの頃は初めて会う人には必ず「しゅーいち」と呼ばれました。現在はみんなから「ひで先生」と呼んでもらっています。が、小さい子にとってはなかなか言いづらいようで、「ひげせんせい」となります。中には、「ひでかず先生」と言ってくれようとして「ひじかじせんせい」となってしまう。そのうち舌を噛まないか心配です。

数年前、年長児の担任をしていたときに、卒園間近になつた子から手紙をもらうこともありました。鮮やかに描かれた絵と一緒に、一所懸命書いてくれた文章も添えてあります。「しょうがっこうにいてもがんばるよ。うんうんと読み進めます。『いままであそんでくれてありがとう。しげせんせいだいすき』…頑張ってくれたことがとても嬉しかったです。(あれ?しげ...?という気持ちは内緒です)

落語の有名な話で「じゅげむ」というものがあります。簡単に説明すると、子どもに長い名前をつけてしまうことの面白さが書かれています。コロコロライブラリーに落語絵本がありますので、気になる方はご覧くださいね。なぜ名前が長いかというと、縁起の良い名前を次に次にと足していったら長くなっちゃったという「子どもに幸せになつて欲しいという親の思い」が描かれているので。漢字で書くとも寿限無。寿が限り無い人生を歩んでもらえるようにとの願いです。

「名前は親が送る最初のプレゼント」とどこかで聞いたことがあります。保育士をしていると、時々、「フリガナがない」という名前に出会うこともあります。どんな名前にも、きっとそこには親の思いが詰まっているのだらうと勝手に思っています。私も子どもに命名する責任を感じつつ、最初に呼ぶときはなんだか恥ずかしかった記憶があります。

この先、就学すると子どもも同じが名字で呼び合うことや先生から名字で呼ばれることも増えてくるかと思えます。以前、ふたばランドの職員には子どもたちの名前を大事にしようねと呼びかけたことがあります。愛称や、くくん、ちゃんなどで呼ばせてもらっています。職員が子どもを名字で呼ぶことを、私は好ましく思っています。沢山名前を呼んで、あなたを認めているよ、あなたの存在は大切なんだよ、とメッセージを込めているつもりです。時々でも名付けたときのことを思い返しながら、お子さんの名前を呼んでみるのも良いかもしれませんね。

園長 梶原 秀一

※今月から、浅田精利理事長の文章は隔月での掲載となりました。楽しみにされていますようお願いいたします。